

## ■今月の特選句

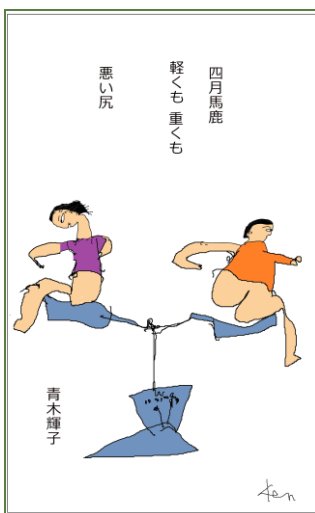
2021年6月



## 紋白蝶が気になって仕方ない葱坊主

鈴木和枝

葱坊主に物心がつく頃、モンシロチョウが気になって仕方ない。モンシロチョウも、飾り気のない葱坊主のことが気になり始め…。ある葱畑でのお話。



## 四月馬鹿軽くも重くも悪い尻

青木輝子

尻軽はいかん。かといって尻が重いのも困りものだよ。どちらのタイプも困るねえ。同一人物で軽い尻と重い尻と両方使い分けるって？ 最悪だな。



## ランナーと競ひ流るる春の川

月城花風

ランナーは孤独な闘いを強いられるから、伴走者の存在は有難い。ただ、その日の流れ方によってランナーのタイムが左右されるのが難点か。

## ■今月の特選句

2021年6月



## せんせいと呼ばれみどりの羽根を挿す

西をさむ

赤い羽根は社会福祉の充実を目的として十月に、緑の羽根は緑化推進のために四月に、募金活動が行われる。国会議員の胸でよく揺れている。



## 誰よりも先に新茶を嗅ぐ鋏

久我正明

茶摘みの現場にいる茶摘女が、誰よりも先に新茶の香を楽しむことができる。とは誰もが思うこと。しかし、まさか鋏が一番とは思いつかなんだ。



## 一円玉見つけた更衣

吉川正紀子

財布の中にある一円玉を見ても有難味を感じない。なのに衣更えの時にポケットから一円玉が出てくると、嬉しくて大事にされるから不思議。